

# 平成26年度埼玉県・オハイオ州機械工学系奨学生レポート

## 8月分「新しい生活」

### はじめに

はじめまして。平成26年度埼玉県・オハイオ州機械工学系スカラーシップの伊達匠です。

はじめにこの度このような貴重な機会を設けてくださりました埼玉県、オハイオ州、Nissin Brake Ohio 様、フィンドレー大学様。並びに関係者の皆様に感謝を述べレポートを始めさせていただきます。

このプログラムに参加した理由は、アメリカへの留学が私のかねてからの夢であり目標であったため、機械工学を専攻する私にとって英語と機会仕事を学べるこのスカラーシップは私にとって大きなチャンスだと考えたからです。またアメリカの工場でのインターンでは工学的な英語を経験できると考えたからです。

### フィンドレーでの生活

フィンドレーでの生活は月水金の三日間フィンドレー大学で講義を受け、火木の二日間 Nissin Brake Ohio の方でインターンを受けています。大学では IELP(Intensive English Language Programs)コース受にかよっており、文法、リスニング、スピーキング等の英語の基礎を学んでいます。インターンでは工作機械のメンテナンスや工具の管理などの仕事をしています。



フィンドレー大学 本校舎(Old Main)

## 入学式

フィンドレーに到着して三日後の8月16日、大学の入学式が行われました。アメリカは日本と異なり8月下旬頃に始業を迎えるので、入学式も8月中旬になります。入学式では学長からの祝辞、吹奏楽部の演奏などが行われ、Arch Ceremonyに移りました。Arch Ceremonyとはフィンドレー大学の伝統的な行事です。入学式では新入生が大学正面のアーチから大学に入り歓迎を受けます。一方卒業する際はアーチから外に出て世に送り出され、在学中はアーチをくぐってはならないといった決まりもあり皆粛々と守っています。Arch Ceremonyで新入生が全員アーチをくぐり終わると最後に、フィンドレー大学のパーソナルカラーであるブラックとオレンジの風船が放たれ、新入生を歓迎します。

私もこのセレモニーに参加しアーチをくぐりました。アーチをくぐる際は在校生や教職員の方から向かい入れられ入学したことを強く実感しました。



Arch Ceremonyの様子。(写真中央は大学のマスコットの Oiler)